

ばんことジャンプ!

6月議会の一般質問

日本一高い！？伊丹市の保育料

3号認定・3歳以下標準保育時間利用者負担金(保育料)

	伊丹市区分	伊丹市	国区分	国上限	豊中市	朝来市	尼崎市
1	生活保護世帯	0円	1	0円	0円	0円	0円
2-1	市民税非課税 (児扶手+障害手)	0円	2	9,000円	3,000円	7,000円	0円円
2-2	市民税非課税	6,000円					5,300円
3-1	均等割のみ課税	13,000円	3	19,500円	10,700円	12,000円	12,200円
3-2	~48,600円	16,200円				15,000円	13,200円
4-1	~50,900円	21,800円	4	30,000円	19,400円	23,000円	21,000円
4-2	~54,700円	25,500円					22,300円
4-3	~97,000円	30,000円					23,700円
5-1	~108,400円	37,000円	5	44,500円	34,000円		34,300円
5-2	~169,000円	44,500円				36,100円	
6-1	~190,300円	53,000円	6	61,000円	45,900円	52,200円	
6-2	~301,000円	61,000円				54,900円	
7-1	~339,000円	72,000円	7	80,000円	57,700円	72,000円	
7-2	~397,000円	80,000円					
8	397,000円~	90,000円	8	104,000円	78,000円	93,600円	

(市民税所得割額)

6月議会の一般質問

1. 保育所と子育て支援
2. 伊丹市地域防災計画



<インターネット動画配信>
伊丹市議会のホームページで、質問当日はライブで、録画は質問日の3日後に見ることができます。

(今回は、6月13日です)

Q. 日本一高い保育料について

伊丹市の保育料は、国がこれ以上取ってはいけないと決めた上限(保育料基準額) いっぱいの設定になっている。つまり日本一高いということになる。兵庫県内で国の最高額を取っている市は、伊丹市と赤穂市だけ。他市に比べて保育料が高いと、若い世帯の転入促進を考えている伊丹市としては、「選ばれない」一因にはならないか。高いという市民からの声はないのか？また、どのように決めているのか。

A. こども未来部長の答弁

国の基準は、所得に応じて8区分のものを、伊丹市はさらに細かく15に分

けて、低所得家庭の支援を充実している。年収330万円以下の世帯は国の基準よりも低くなっているため、高いという認識はない。新しい制度前からの水準のままなので、保護者から負担額に対する意見等は伺っていない。

A 市長の答弁

「保育料を下げたらどうか」という質問のようだが、そのような声は聞いていないので、高いという認識はない。一方で、「子育てしやすいまち」として保育施策を充実させていく上で、「保育料のあり方」も構成要素1つのものであると思う。今後慎重に検討していきたい。

「保育所と子育て支援について」要望しました！

伊丹市の待機児童数は？

平成28年3月31日には553人でしたが、4月には33人に減少。年度初めには大幅に減ります。ただ、質問を行った6月には130人程度になり、年度末に向けてさらに増えます。来年4月に猪名野神社の近くに75人規模の私立保育所が新設されますが、待機児童解消にはまだ足りない状況です。公立保育所も定員を超えて入所している状態です。私立の認定子ども園の誘致など、就学前の子どもたちのゆとりある受け皿が必要だと、ばんこは考えます。

病児・病後児保育について

現在の2名ずつでは、インフルエンザが流行する冬には、利用できない保護者がお困りです。子どもが病気の時に休んであげたいのは親なら当然の思い。それでも、休めない人もいますので、対応を問いました。病後児保育を病児保育に切り替え、4名体制にする予定です。ちなみに、豊中市は定員26名、その予算は7千万円弱。少しでも困っている保護者の助けになるように、今後も検討を続けるよう求めました。

子育て支援の情報提供について

情報提供のために、保育課の窓口「利用者支援相談員」がいっぱいいます。相談の中心は「保育所に入りたい」というものです。平日・日中が中心の認可保育所で全ての働く親に対応できるものではありません。独りネットで情報を集めることしかできない人に、無認可保育所、ファミリーサポートなども含め、必要かつ正しい情報が届くように、様々な子育て支援情報を集めていただくよう、要望しました。

ばんこの意見

子どもを保育所に入れなくても、なかなか認可保育所に入れない、やっと入れたけれど、保育料は他市より高い、のでは、伊丹市に住んでいる人でも他市に移りたい、と思っていしまいます。

昔と違って子育てにはお金がかかります。世帯収入も二人合わせて何とか食べていける、という若い世帯の方々が子どもを持てるよう、子育てにかかる経済的負担を軽くするのは、市の大切な施策の1つであると考えます。保育料を安くするという事は、税金を投入するという事に他なりません、他市でできていて、伊丹市ができないはずはありません。ぜひ、市長に頑張ってくださいませ。

「保育所建設に反対！」というニュースを時折見かけますが、たくさんの子どもが元気に育つ姿は、こちらにも元気をもらえます。子育てにやさしい『伊丹市民と伊丹市』でありたいです。



新しい園舎が完成し、名前も「あそかの木保育園」となった元かおり保育園。地域の子育て支援も頑張ってくださいませ。



広い園庭をもつ、伊丹幼稚園、4歳児2クラス、5歳児1クラス、園児合計54人です。

どうなる、公立幼稚園

伊丹市には公立幼稚園が17園、小学校区に1つづつあり、1校区1園制を続けてきました。しかし、3年保育や預かり保育、保育所を希望する保護者が増え、募集定員750人に対して、平成28年度は482人と約半分に（4歳児、神津認定子ども園含む）。過去3回開かれた公立幼稚園に関する審議会では、10園程度に

減らすのがよい、という答申が出ています。昨年からは、地域住民の声を聞く会を開いています。ゆとりのある環境、幼児教育、短時間教育という特色を保って、公立幼稚園を数を減らしながら残すのが、3年保育、預かり保育などを取り入れて、園児数を増やしていくのか、結論が出るにはまだまだ時間がかかりそうです。みなさんはどうお考えになりますか？

6月議会の一般質問 伊丹市防災計画について

1. 市民の「もしもの時の備え」について

Q. 大規模災害の時に必要となる、食料、水などの備蓄品は、伊丹市では1万5千人分しか用意されていない。その事実を市民に知らせたうえで、それぞれが「もしもの備え」をすることの大切さを、どのように呼び掛けているのか。

A. 震度7の直下型地震で約1万5千人の避難者が出ると想定している。食料は、1日分3食×1万5千人分、4万5千食備蓄している。毛布や段ボール、簡易トイレなども市内4か所に分けて備蓄しており、学校や共同利用施設には一部のみ置いている。防災センターの啓発展示コーナーや出前講座、自主防災組織の訓練などで呼び掛け、防災への関心は高まっていると思う。

ばんこの意見 食料備蓄が1万5千人の1日分というのは、市内の店舗と協定を結んで、災害の時に協力していただくことが前提です。水もペットボトルでの備蓄はミルク用のみで、市内耐震貯水槽から避難所に水が届くにも、時間がかかります。

21年前の大震災時と比べ、耐震住宅が増えていますので、まずは自宅避難。自分でできることは自分でやるのが、本当に必要な人へ支援の手が届くこととなります。フリーズドライのお味噌汁やスープ、レトルトのお粥、ペットボトルのお水など、普段の生活に組みこんで、まずは、3日持ちこたえられることを目指しましょう！



百均で用意できる防災グッズが、防災センターに展示されています。持ち出し袋に入れておくもの、自宅避難の時に役立つもの、と分けて置いておきましょう。自宅で被災するとは限りませんので、企業や学校などでの防災対策についても、質問してまいります。

2. 原子力災害時の福井県おおい町との広域避難連携について

Q. 大飯原発、高浜原発が（万が一）原子力災害をおこし、周辺住民に県外避難の指示が出された場合、伊丹市はおおい町民の一部を受け入れることになっている。受け入れについて、具体的な計画は作っているのか、おおい町との協議はできているのか。

A. 関西広域連合のガイドラインに基づき、受入要請があった場合、本市が被災していないことを大前提に受け入れる。計画は作っていない。避難して来られる人達の駐車場・食料・必要品の確保、スクリーニングの徹底など、課題は多い。課題解決を兵庫県、福井県に要請しながら、計画を作っていくたい。

ばんこの意見 市内の公立小中学校（花里・池尻を除く）全てと市立伊丹高校が避難所に指定されていて、おおい町の住民避難マニュアルにはっきりと書かれています。困った時はお互い様です。絵にかいた餅のような連携協定では、万が一の時に両方の自治体の住民の命にかかります。再稼働のためだけの避難計画であってはならないと考えます。

原発地元ではありませんが、伊丹市民にも原子力災害時の対応策を伝えること、避難計画をおおい町と連絡を取り合って作ることを求めました。また、避難先に指定されている学校には、そのことを伝えておくべきではないでしょうか。

各地区の県外避難先となる
避難施設（位置図）



おおい町住民避難マニュアル
(原子力災害) おおい町のHPより

障害者1000人雇用について（総社市）

総社市は、2011年に「障がい者千人雇用」を重要な政策と掲げ、1年後の2012年から障がい者雇用を増やしていきました。2016年には目標の1000人をほぼ達成。どうすれば障がい者雇用が進むのかを伺いました。

Q. 1000人という目標の根拠は？

A. 働ける年代の障がい者で、働いていない人の数です。

Q. 具体的に取り組んだことは？

A. 職業紹介は国（ハローワーク）の仕事だけれど、それぞれの障がい者のことをわかっているのは市。ハローワークに市から2人出向させ、ハローワークからも来てもらっている。まず、「千人雇用委員会」で課題を抽出、条例を制定し、市長が「障がい者が働ける市」ということを常に市内外に発信していった。市内に、職場における障がい者を特別視しない素地が育った。それまで少なかったA型事業所（雇用型）を増やし、そこから一般就労へ移れるよう、市内の事業所を開拓して回った。事業所からは、採用した経験がない、任せる仕事がない、と言う声が最初であった。一度採用してもらえると、障がい者でも戦力になる

ことを知ってもらえ、採用は続く。障がい者の人達が、働きたいと思ってもらうことが一番大事。

ばんこの意見 伊丹市でも、障がい者雇用はなかなか進んでいないと聞いていますが、障がい者の方々の就労状況、就労希望、受入事業所などの「実態」が把握できていないそうです。現在、私たちの会派は、県・市の担当課、社会福祉協議会、ハローワーク、障がい者団体、事業者等に聞き取りしながら、調査を行っているところです。実態、課題をはっきりさせて、今後の議会で取り上げ、伊丹市でも障がい者雇用を進めてまいります。



A型事業所のパン工房「ニコニコ堂」を見学。パンの成形やクッキーの型抜き、包装、接客など多くの障がい者の方が働いていらっしゃいます。日々新しい味と美味しさを追求する努力を続けることが大切だとお話をいただきました。

会派視察のご報告（呉市・総社市・堺市）



総社市では、障がい者雇用について、社会福祉協議会さんを訪問。専門の障がい者千人雇用センターの職員さんにお話を伺いました。

呉市では新庁舎を視察。伊丹市も、近いうちにどのような新庁舎を建設するのかということを決めなければなりません。建設費は先延ばしする程高くなると、ご指摘をいただきました。



呉市役所

近畿市民派学習会で訪れた堺市議会の議場。議場は市民の代表が集まる場所。多目的に使える、機能性の高い質素な議場がいいです。



堺市議会

第8回ばんばんトークのご案内

9月議会のご報告をさせていただいた後、ご参加のみなさんと一緒に気軽にお話をする会です。

10月22日（土曜日）午後1時半～
スワンホール 1F 会議室2にて

高塚ばんこのプロフィール

1959年 三重県生まれ、
愛知県立大学スペイン科卒業
2003年 市議初当選、現在3期目
いたみ未来ネット代表
総務政策常任委員会副委員長
クリーンランド議会議員他

発行責任者：高塚ばんこ
自宅住所：伊丹市西台3-6-22-302
市議会事務局電話 072-784-4090

高塚メールアドレス：banko@brown.plala.or.jp
高塚Tel/Fax（自宅） 072-770-0444
ブログ：「ばんこがいく！」

ご意見、ご感想などお聞かせいただくと幸いです！

